

## 令和3年度教育功労表彰者功績概要

R3.11.1

氏名 年齢 住所地	主たる経歴 (最終歴)	功績概要
あさかわ せつこ 浅川 節子  74歳 蕪崎市	元 あげぼの養護学校長	県総合教育センターの特殊教育部長として、特殊教育から特別支援教育への移行に尽力した。あげぼの養護学校長時代には、校舎改修、あげぼの医療福祉センター併設から隣接への制度変更と、ハードソフト両面の変革を推進した。退職後は産業技術短期大学校にて英語教育に力を注ぎ、教育振興に貢献した功績は顕著である。
おおさわ ただし 大澤 正  74歳 山梨市	元 甲府城西高等学校長	県教育庁スポーツ健康課副主幹・体育主事として、競技スポーツの振興、競技力の向上に寄与した。甲府城西高等学校長時代には、総合学科高校の新しい教育システムを構築し、基礎学力の向上や生徒の多様な進路実現に尽力した。退職後は、山梨市社会教育委員を務めるなど、学校教育・社会教育の振興に貢献した功績は顕著である。
きたはら ゆきお 北原 行雄  74歳 都留市	元 甲府東高等学校長	県教育庁高校教育課管理主事として、教職員の人事管理作業の省力化を図るためのプログラム等の開発を行った。甲府東高等学校長時代には、学校生活の充実と授業時数確保を目的とした55分授業の導入、生徒の発表を中心とした学校説明会の開催など積極的に新しい企画を立案し、魅力ある学校教育に貢献した功績は顕著である。
さかもと ひとし 坂本 仁  74歳 北杜市	元 北杜高等学校長	北杜高等学校長時代には、地域人材の活用や近隣中学校との交流、地域を題材にした特色ある学校経営を推進し、地域に根ざした学校づくりに努めた。退職後は、山梨県歯科衛生専門学校副校長として、学校ブランド力の強化に尽力するとともに、北杜市教育委員会委員長を務め、学校教育の振興や教育行政の推進に貢献した功績は顕著である。
とだ ゆうじ 戸田 勇次  74歳 甲府市	元 山梨高等学校長	県教育庁新しい高校づくり推進室主幹として、高校教育改革や高校再編事業等に取り組み、高校教育の発展に寄与した。山梨高等学校長時代には、「朝の読書の時間」の設置やインターンシップ制度導入等特色ある学校づくりに尽力した。また、県高等学校文化連盟会長として、文化部活動の振興に貢献した功績は顕著である。
ひなた としひこ 日向 敏彦  74歳 甲府市	元 甲府昭和高等学校長	県立図書館長として、図書館サービスの可能性を進展させ、本県の新しい情報拠点である中核図書館としての礎を築いた。甲府昭和高等学校長時代には、特色ある教育課程の編成と学習環境の向上に努めるとともに、学校の情報を周辺市町の広報に掲載し、地域との連携を図るなど、学校教育の振興に貢献した功績は顕著である。

## 令和3年度教育功労表彰者功績概要

R3.11.1

氏名 年齢 住所地	主たる経歴 (最終歴)	功績概要
みやがわ よしはる 宮川 芳春  74歳 笛吹市	元 山梨園芸高等学校長	山梨園芸高等学校長として、将来の在り方・生き方を探求するインターンシップをいち早く導入し、生徒の勤労観を高めた。また、専門高校の強みを生かした体験学習を通して、小・中学校や地域との連携を推進し、学校の活性化のみならず、お互いの学習意欲の向上や学びの深化など人材育成に貢献した功績は顕著である。
いちかわ まさみつ 市川 將満  74歳 笛吹市	元 笛吹市立 御坂中学校長	笛吹市立御坂中学校長時代には、「教育相談部会」を立ち上げ、不登校生徒増加に伴う対策に尽力した。退職後は、特定非営利活動法人学びの広場ふえふきの事務局員として、児童・生徒の学びの環境づくりや教職員の資質向上に寄与した。また、体験教室として「篠笛教室」を立ち上げ、地域教育の振興に貢献した功績は顕著である。
いとう のぶゆき 伊藤 信之  74歳 都留市	元 都留市立 禾生第一小学校長	都留市立禾生第一小学校長として、文部科学省の指定を受けて「学力向上フロンティアスクール」の研究を深め、少人数学習やチームティーチング等の推進に尽力した。また、市内一斉の公開授業の実施を通じて、教員が学び合う機会を設け、教員の授業力向上に努めるなど、地域教育の振興に尽力した功績は顕著である。
いまむら ふみこ 今村 文子  75歳 身延町	元 身延町立 久那土小学校長	身延町立久那土小学校長時代には、小規模校における個人指導の徹底を図り、児童一人ひとりが十分に理解できる授業に全校で取り組むことにより、児童の学力向上に尽力した。退職後も身延町主任児童委員や身延町教育委員会教育委員として、学校教育のみならず、多分野にわたり児童の育成に貢献した功績は顕著である。
うめもと すみお 梅本 澄雄  75歳 南アルプス市	元 南アルプス市立 豊小学校長	南アルプス市立豊小学校長として、保護者や地域に信頼される学校づくりを心がけ学校経営を行った。県から英語教育の指定を受け、コミュニケーション能力の開発と国際理解を進める教育の実践研究に取り組み成果を上げた。子どもたちが学ぶ楽しさを保障する学校を目指して尽力した功績は顕著である。
おがさはら ひろし 小笠原 浩  75歳 山梨市	元 山梨市立 加納岩小学校長	県東山梨教育事務所主幹として、地域の教育課題を明らかにし、地域教育の推進や子育て支援の組織づくりに尽力した。山梨市立加納岩小学校長時代には、文部科学省「学習指導カウンセラー派遣に係る調査研究事業」に熱心に取り組み、山梨大学と連携し指導計画や指導方針を改善するなど学校教育の振興に貢献した功績は顕著である。

## 令和3年度教育功労表彰者功績概要

R3.11.1

氏名 年齢 住所地	主たる経歴 (最終歴)	功績概要
かわぐち いさお 川口 勲  74歳 甲斐市	元 甲斐市立 双葉東小学校長	永年の教員生活を通して児童の国語力向上を目指し、作文・読書活動の充実に努めた。また、竜王町立玉幡小学校では自校給食の良さを生かし、手作り給食を推進した。甲斐市立双葉東小学校長時代には、生徒指導に奔走し、きめ細かな生徒指導に尽力したほか、学校評価の研究実践を行うなど、学校教育の振興に貢献した功績は顕著である。
こいけ まさひろ 小池 正弘  74歳 北杜市	元 北杜市立 泉小学校長	北杜市立長坂中学校長として、文部科学省から「学力向上拠点校」の指定を受け、確かな学力の定着に成果を上げた。北杜市立泉小学校長時代には、保護者や地域と連携した学校運営に尽力した。退職後は、北杜市社会教育委員や北杜市公民館運営審議会委員を務めるなど、地域の発展に貢献した功績は顕著である。
こばやし よしゆき 小林 能行  74歳 韮崎市	元 韮崎市立 韮崎北東小学校長	甲斐市立双葉中学校長時代には、文部科学省から「運動部活動地域連携実践事業」の指定を受け、運動部活動を通じてスポーツに親しむ生徒の育成に努め、外部指導者の活用などを積極的に推進した。退職後は青少年の健全育成に関わり、韮崎中央公民館長を長く務めるなど、多分野にわたり地域の発展に貢献した功績は顕著である。
しもざわ なおゆき 下澤 直幸  75歳 大月市	元 大月市立 大月東小学校長	大月市立大月東小学校長として、発達・情緒障害通級教室と難聴学級の設置に力を注いだ。また、大月市立鳥沢小学校長時代には、森林環境教育に力を入れ、「学校の森」を活用したふるさとづくりに取り組んだ。退職後もシオジ森の学校長を務めるなど、森林環境教育や自然保護の啓発に貢献した功績は顕著である。
つかはら いずみ 塚原 泉  74歳 甲府市	元 甲斐市立 竜王小学校長	甲斐市立竜王小学校長時代には、情緒障害通級指導教室の設置を実現し、設備・教材・指導の充実に努めたほか、県特別支援学級等の在り方の検討に尽力した。退職後は甲斐市教育委員会就学相談員として、障害児を育てる親に助言するなど、障害児の適正な就学と各学校の効果的な対応指導力の向上に貢献した功績は顕著である。
どばし かずひこ 土橋 一彦  74歳 身延町	元 甲府市立 東中学校長	甲府市立東中学校長として、命の尊さを訴え、共に学び合う授業を推進し、自ら学ぶ生徒の育成を図った。県警(防犯課)少年対策官の経験を生かし、甲府市教育委員会学校教育課長時代には、現場の声を大切にし、諸機関との連携を推進した。甲府市立小中学校長会会長として、校長の資質向上を図るなど、その功績は顕著である。

## 令和3年度教育功労表彰者功績概要

R3.11.1

氏名 年齢 住所地	主たる経歴 (最終歴)	功績概要
まえだ せいいちろう 前田 誠一郎  75歳 都留市	元 都留市立 谷村第一小学校長	県富士北麓・東部教育事務所長として、南北都留の教育事務所の統合に尽力するとともに、各教育委員会の事業の推進や新規事業の企画立案に積極的に寄与した。また、都留市立谷村第一小学校長時代には、地域に開かれた学校づくりの推進や、都留文科大学と連携し基礎学力の向上に努めるなど、地域教育の振興に貢献した功績は顕著である。
まつど にろう 松土 仁郎  74歳 甲斐市	元 甲斐市立 敷島北小学校長	白根町立白根百田小学校長時代には、文部科学省より歯・口健康づくり推進指定校の指名を受け、学校全体で取り組めるよう努めた。甲斐市立敷島北小学校として、児童の安心・安全な環境整備を基本とした学校経営や読み方指導の研究に献身的に取り組み、児童の国語力の向上に貢献した功績は顕著である。
みやした ひでつぐ 宮下 秀次  74歳 忍野村	元 富士吉田市立 吉田西小学校長	富士吉田市立吉田西小学校長時代には、文部科学省・山梨県教育委員会の研究指定を受け、「確かな学力を身につけた生徒の育成」について研究・実践し、児童生徒の学力向上、健全育成に貢献した。退職後は富士吉田市教育委員会教育相談員として教員や教育行政の経験を生かし、特別支援教育の発展に寄与した功績は顕著である。
もちづき たかゆき 望月 孝之  74歳 中央市	元 中央市立 三村小学校長	中央市立三村小学校長として、通学路の安全を考慮し、山梨環状道路への歩道橋設置のための署名集めや陳情等を行い建設に貢献した。また、児童の指導や保護者への教育相談に積極的に取り組んだほか、特別支援教育の推進を目指して関係機関と連携し、情緒障害児通級指導教室の開設に尽力するなど、その功績は顕著である。
ほりぐち はつこ 堀口 初子  74歳 富士川町	元 増穂町立 増穂中学校養護教諭	養護教諭として、目の前の子どもたちに深い愛情を持って接し、心身の健康課題への対応を的確に行った。増穂町立増穂中学校時代には、エイズ教育地域指定を受ける中で、命の大切さや人としての生き方に迫る教育を推進した。教育相談にも力を注ぎ、不登校や保健室登校への対応を通じて、学校教育活動に貢献した功績は顕著である。
ひはら はつえ 日原 初江  76歳 山梨市	元 塩山市立 塩山南小学校 主任学校栄養職員	塩山市立塩山南小学校主任学校栄養職員として、学校給食の普及・充実に尽力した。おいしくて安心・安全な学校給食を提供するために、給食室の整備や地域で生産された農産物を活用した研究を行い具現化するなど、東山梨地区への長い勤務歴を生かして、学校給食の発展に貢献した功績は顕著である。